

## 人権教育に関する特色ある実践事例

基準の観点	学校全体として人権尊重の視点に立った学校づくりが組織的かつ効果的に進められている実践事例
-------	--

### 1. 基本情報

○都道府県名及び市町村名

愛知県北設楽郡設楽町

○学校名

設楽町立田峯小学校

○学校のURL

<http://www.kitashitara.jp/damine-el/>

### 2. 学校紹介

○学級数

【通常の学級】複式3学級、【特別支援学級】0学級、【合計】3学級

○児童生徒数

【全児童生徒数】11人（平成26年4月1日現在）  
（内訳：1年生2人、2年生1人、3年生3人、4年生1人、5年生2人、6年生2人）

○人権教育開発推進事業、人権教育研究推進事業実績（実施年度及び事業の別）

平成24・25年度人権教育研究推進事業人権教育研究指定校

○学校の教育目標、人権教育に関する目標など

【学校の教育目標】

（校訓）「じょうぶで なかよく がんばる子」

【人権教育に関する目標】

（研究主題）人を思いやり、手を差し伸べることができる“峯っ子”の育成  
～複式授業づくりと地域活動・国際交流の推進をとおして～

（スローガン）「ここに学ぶ」～通い合う“人と人”、通じ合う“心と心”

○人権教育に係る取組一口メモ

地域の「人・もの・こと」を生かした体験活動の推進と、自他を大切にできる少人数（複式）指導の工夫改善を通じた人権感覚の醸成

○人権教育にかかる取組の全体概要



3. 特色ある実践事例の内容

(1) 取組のねらい

本校は全校児童11名(26年度)の完全複式校である。子供たちの学校生活には、全校活動・縦割り班活動等、異学年同士の関わり合いが常に基本にあり、体力や生活経験などの差を気遣いながら仲良く生活している。また、地域の人たちは、地元の伝統文化の大切な担い手としての子供たちの成長に大きな期待を寄せ、学校に対して惜しめない協力の手を差し伸べてくれている。子供たちは少人数ではあるが、こうした学校内外における異年齢交流に支えられながら社会性を育てている。また本校では、この20年来3年に1度のアメリカ訪問(青い目の人形使節団)を実施し、学校交流やホームステイ体験、地域の伝統芸能の歌舞伎の公演を続けている。こうした国際交流体験を通して、子供たちは異文化理解という視点に立った人との関わり方も学び続けている。

ウィンザー小学校では、全校での交流会の後、いろいろなクラスに日本の伝道的な遊びの紹介に行きました。わたしは折り紙を紹介する係でした。はじめのうちは、折り紙の折り方を英語で説明しても、折っていない子がほとんどでした。わたしは、声が小さいのかな、はっきり言えていないから伝わらないのかな、と心配になりました。そこで、わたしは「Like this. (こんなふうにやってみて。)」という言葉を使って折ってみせることにしました。そうしたら、だいぶスムーズに折れるようになりました。(第8回アメリカ訪問に参加した4年女児の作文より)

このような子供たちではあるが、日常生活においては、気心が知れているあまりに安易な依存や妥協をする姿が見られることがあり、序列意識の芽生えにつながっていくことが懸念されている。そこで、少人数集団であっても互いの関係は一様ではなく、共感と信頼のもとに互いのよさや可能性を発揮し合える人間関係づくりが大切であることの理解を深め、自分を大切にするとともに、友達や周囲の人たちを大切にできる豊かな人権感覚を育てていきたいと願っている。

また、子供たちが暮らす地域は、過疎・高齢化が進む中で学校や子供たちに惜しめない支援の手を差し伸べてくれている。そうした厚意に甘んじることなく、地域の子供として自分たちができることを考え行動することこそが、より確かな人権意識を身につけていくことに通じていくといえる。

こうしたことから、本校では、学校や地域の特色を生かし、生活の様々な場面で「人を思いやり、手を差し伸べることができる子供」の姿を求めていくことにした。

## (2) 取組の内容

### ア 一緒に学んで楽しいな

#### (授業づくり)

少人数かつ異学年の児童と一緒に学ぶ複式学習は、生活・学習経験の差を踏まえた一人一人への配慮を必要とする。そこで、複式指導において、「思いを語り合い、互いの考えを受け止め合いながら課題を解決する」過程を大切にしたい授業を展開し、共感と信頼に根ざしたよりよい人間関係づくりを目指すことにした。

### イ 陽だまりのような仲間が好き

#### (仲間づくり)

限られた人間関係の中にあっても、自己をしっかりと見つめ、他者との関わり方をより豊かにできるようにしていくために、「心の健康」をテーマとした取組を進めていくことにした。また、集会活動の場づくりを工夫し、自分の考えを身近な友達や他校・地域の方に向けて積極的に発信していこうとする姿勢づくりにも取り組むことにした。



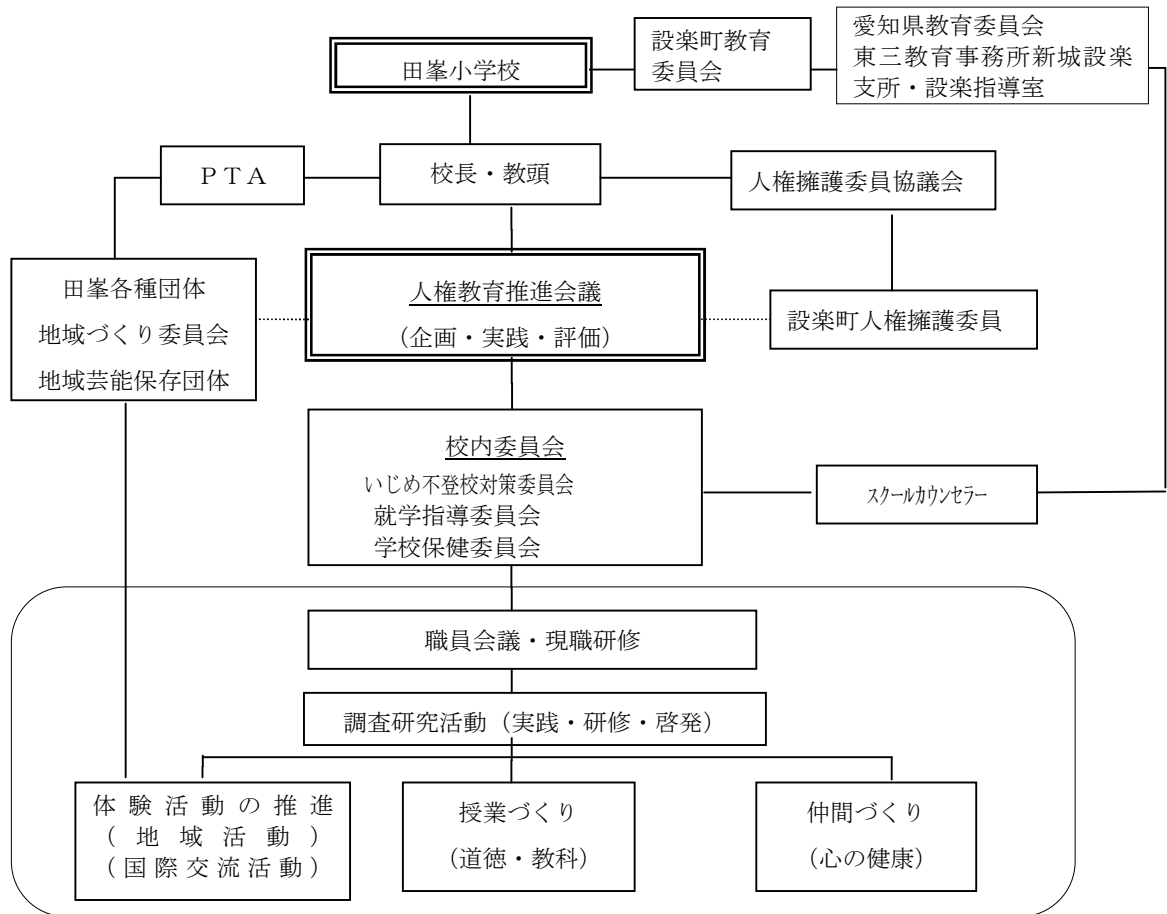


ウ. 出合いがいっぱい、  
気づきがいっぱい(体験づくり)

本校では、これまでもPTA・親子による地域貢献活動や伝統文化の継承活動を積極的に進めている。また、国際交流活動の推進にあたっては地元の関係団体の方から多大な支援を受けて実施している。こうしたことから、地域の思いに感謝し、進んで働きかけていく活動の創出に努めていくことにした。



(3) 取組の主体や実施体制



4. 実施する際に生じた課題及びその解決策

「授業づくり」「仲間づくり」「体験づくり」の三つの側面から人権感覚の醸成を図る学びを創造していく上で欠かせないことは、一人一人の心の有様をどのようにつかみ、寄り添っていくかである。そこで、実践に際しては、京都市教育委員会編「人権教育と学校経営」のアンケート手法を参考にさせていただき、子供たちの生活意識を網羅的に把握し、指導のより所としていくことにした。

(1) 第1回アンケートの結果を踏まえて

研究当初に行った第1回の調査(前々回グラフ)における児童の意識はおおむね良好



そこで、養護教諭による「心の健康づくり」の一環として、エゴグラムを用いた自己対話活動やスクールカウンセラーとのカウンセリング体験、アサーティブトレーニングの手法を取り入れた集会活動などを定期的実施することにした。

＜実践例＞

○5・6年学級活動

…「自分の知らない自分を知ろう」

○コミュニケーションスキルを高める学校保健員会活動, 保健集会

…「心は開くといいのだ」「あなた はだあれ」

○児童会…「なかよし集会」(人権週間のまとめ)

「清嶺小との人権映画合同鑑賞・意見交流会」

(4)「体験づくり」において

子供たちに、地域の特色に目を向け、愛着を深める体験を一層積み上げさせていくことを目指し、田楽や跳ね込みなど、これまで後継者育成の立場から要請の強かった活動を新たに教育活動に取り入れ実施することにした。講師として地域の様々な方との出会いを体験させることで子供たちの「地域とつながる心」がより確かなものになっていくと考える。

②仲間づくり 陽だまりのような仲間が好き

児童による人権週間のまとめ「なかよし集会」

各学級の人権学習のまとめ  
道徳や教科の学習を通して各学年で学んだことの発表

わたしたちは人権週間でお互いに  
ついでを言いました。人を助けることで  
自分のおもいきりも大きくなります。困っている  
相手の気持ちを考え、手助けすることが  
大切だと考えました。



個人の人権作品の発表

一人一人が思いを込めて書いた人権に  
関する習字作品の発表  
ただ発表するのではなく、  
友誼で活動することができれば、  
強い団結が生まれると思います。  
だから今回は「友誼団結」という  
作品をつくりました。



児童会による「なかよし集会」

人の気持ちを考え、なかよくみんなで輪をつくることを誓います!

親子で学ぶ学校保健委員会活動「すくすく集会」

自分の心と対話しよう

心が元気がないと  
・仲間づくりアンケート  
・コミュニケーションスキル  
・活用



子どもの思い

心が元気がないと、  
お腫れや腫れが広がる  
から、友達と何でも話  
せるようにしたい。

心は開くといいのだ!

コミュニケーション  
スキルを磨こう

・ロールプレイング  
・アサーティブ  
・トレーニング



親の思い

相手の気持ちを考え  
ながら自分の思いを  
きちんと伝え、良い関  
係を築いてほしい。

あなたはだあれ?

＜体験学習「ここに学ぶ」の主な活動＞

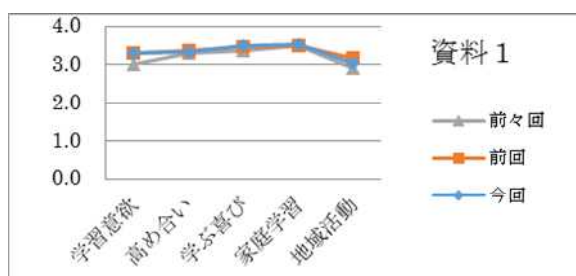
- 草の根国際交流活動  
(青い目の人形アメリカ訪問)
- 伝統文化継承活動  
(田峰観音祭礼への子供歌舞伎奉納)  
(田楽体験活動)(跳ね込み体験活動)
- 原生林保護活動(ブナ植樹作業)
- 地域奉仕活動  
(首塚清掃作業)(田峰観音清掃作業)
- 親子活動  
(茶摘み会)(人権教育講演会)

5. 実践事例の実績、実施による効果

前述したアンケートの結果をもとに、全校児童の学習や生活意識の変容を考察してみた。なお、資料1～5の数値は各設問項目の全校児童平均値の比較である。また、前回・今回の対象者は25年度13名、前々回は24年度卒業生を除く11名である。

(1)一緒に学ぶって楽しいな(授業づくり)

共感と信頼に根ざしたよりよい人間関係づくりを意識しながら複式指導の工夫に努めてきた。資料1からは、児童が学習意欲を高め、友達との学び合いを大切にしながら日々の学習に取り組んでいることがうかがえる。



また、資料2からは、そうした学びを生かし、学校生活全般において役割を果たし、子供同士や担任、保護者との関わりを深めてきていることが読み取れ、他者との信頼関係が高まってきたことがうかがえる。

## (2) 陽だまりのような仲間が好き (仲間づくり)

「心の健康」に関する実践を学級や全校で進め、子供たちに自己を見つめることや、コミュニケーションの大切さへの気づきを深めてきた。

資料3からは、前々回の結果に比べ、受容・容認・共感の数値とともに傾聴の数値が高まっており、他者意識が深まっていることがうかがえる。

エゴグラムを使った自己分析とスクールカウンセラーとの面談を関連させた実践(5・6年学級活動「自分の知らない自分を知ろう」)では、学習を通して「自分はこうありたい」という思いを深めることができるようになった。子供たちからは、「(自己目標をもつことで)どの子にも進んで声かけができ、その子のことが分かってよかった」「(カウンセリング体験をすると)気持ちが変わるから、もっとやりたい」「(エゴグラムから)自分のよいところは気配りができること」といった感想があり、自信をもって人と関わろうとする意識を高める一助となったといえる。

また、コミュニケーションスキルを高めるために、学校保健員会活動や保健集会では、アサーティブトレーニングの手法を取り入れた「上手な頼み方」「上手な断り方」を保護者も交えて学習し、相手を気遣いながらも自分の意思をきちんと伝えることの大切さを学んだ。保護者からは、「中学校で新しい友達と上手に付き合うための大切な活動だ」と賛同の声をいただくことができた。

### 【学習意欲】

- あなたは授業に集中し、熱心に取り組んでいますか。
- あなたは、授業の内容が分かりますか。

### 【高め合い】

- あなたは、学校の学習で、クラスの人と協力して調べたりまとめたりしていますか。
- あなたは、学習するとき、クラスの人意見を自分の考えと比べて聞いていますか。

### 【学ぶ喜び】

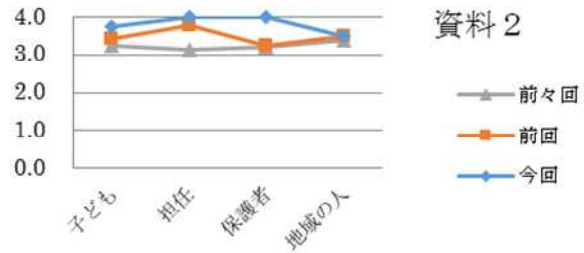
- あなたは、学習ことで、先生からほめられたり、はげまされたりしますか。
- 先生は、授業中にあなたの学習の様子を見に来ますか。

### 【家庭学習】

- あなたは、学校から帰ってからも学習をしますか。
- あなたは、学校から帰ってから、学習のことでだれかにほめられたりはげまされたりしますか。

### 【地域活動】

- あなたは、地域で行われる様々な行事にすすんで参加しますか。
- あなたは、地域で行われる行事に参加したことで、だれかにほめられたりはげまされたりしますか。



### 【子供同士のかかわり】

- あなたは、クラスで決まっている当番や係の仕事最後まできちんとしますか。(役割責任)
- あなたは、クラスの人気持ちを考えながら、話したり行動したりしますか。(協力信頼)
- あなたは、クラスの人に決まりを守るように注意したり、よびかけたりしますか。(率先遂行)
- あなたは、休み時間や放課後に、クラスの人たちといっしょに楽しすぐごしますか。(交遊関係)

### 【担任とのかかわり】

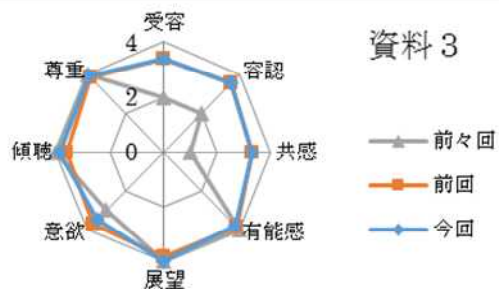
- あなたは、先生から、学校やクラスの約束やきまりについての話を聞きますか。(生活習慣)
- あなたは、休み時間や放課後に、担任の先生とおしゃべりしたり、相談したりしますか。(信頼安心)

### 【保護者とのかかわり】

- あなたが学校から帰ってから何をするかや、その時間は毎日決まっていますか。(生活習慣)
- あなたは、学校から帰ってから、毎日の出来事や思ったことなどをだれかと話していますか。(信頼安心)

### 【地域の人とのかかわり】

- あなたは、地域の人と出会ったときにあいさつをしたり、話をしたりしていますか。(生活習慣)
- あなたは、地域といっしょにいろいろな体験をすることが楽しいですか。(信頼安心)



### 【自他の価値を肯定し、尊重する意志やそのための能力】

- クラスの人たちは、あなたの意見や考えをていねいに聞いてくれると思いますか。(受容)
- クラスの人たちは、あなたの努力したことや、その結果を認めてくれると思いますか。(容認)
- クラスの人たちは、あなたのつらい気持ちや悲しい気持ちを分かってくれると思いますか。(共感)
- あなたは、自分は学習すればもっといろいろなことがわかってきたりすると思いますか。(有能感)
- あなたは自分が学習したことは、これから自分の役に立つと思いますか。(展望)
- あなたは、自分が学習してもわからないことがあったら、何とかして分かりたいと思いますか。(意欲)
- あなたは、クラスのだれの意見でも、その考え方や気持ちをわかろうと思いますか。(傾聴)
- あなたは、クラスのだれにでも必ず何か良い所があると思いますか。(尊重)



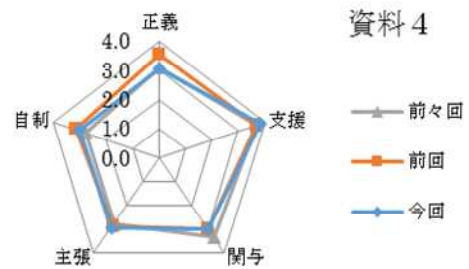
なお、こうした取組をもとに、なかよし（人権）集会や人権映画鑑賞交流会など、自分の考えを友達や他校の子に積極的に発信する活動にも取り組んだ。資料4には、進んで集団へ寄与・貢献しようとする意識が高まっていることがうかがえる。前述した児童Aと児童Bについても、歪さはあるもののグラフに広がりが見られ、友達とのかかわり方が豊かになってきていると捉えている。

資料5からも、学校生活の基盤となる学級が子供たちの心の居場所として共通認識されていることがうかがえる。

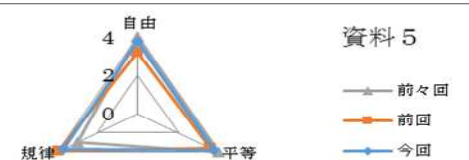
### （3）出会いがいっぱい、気づきがいっぱい(体験づくり)

本研究を契機に、「子ども歌舞伎」に加えて「田楽」や「跳ね込み」といった地域の伝統文化の継承活動を新たに取り入れ、地元の関係団体の方々を講師に迎えるなどして活動を広げてきた。また、児童会を中心に、地域の史跡などの清掃作業を行ったり、老人クラブとの交流を行ったりして地域へ貢献の幅を広げてきた。

しかしながら、資料1、2における「地域活動」を見る限り、児童の意識は学校生活中心の域を抜け出るまでには至っていないといえる。地域全体で子供を見守り育てていこうとする地域の思いに感謝し、地域の一員として積極的に応えていこうとする実践的態度を高めていく必要がある。



- 【価値を擁護しようとする意志やそのための能力】
- 29 あなたは、正しいことか、まちがっていることかを考えてから行動していると思いますか。(正義)
  - 30 あなたは、こまっている人がいれば、自分から力をかそうと思いますか。(支援)
  - 31 あなたは、何かでクラスのためになることをしていると思いますか。(関与)
  - 32 あなたは、まちがったことだと思ったら、クラスのだれにでもはっきりと言えると思いますか。(主張)
  - 33 あなたは、腹が立っていても、自分の考えを相手に分かるように伝えられると思いますか。(自制)



- 【人権が尊重される環境】
- 34 あなたのクラスは、だれもが自分の考えを自由に出し合っていると思いますか。(自由)
  - 35 あなたのクラスは、だれもが活動や学びに分けへだてなく参加していると思いますか。(平等)
  - 36 あなたのクラスは、だれもがルールや約束を守ることを大切にしていると思いますか。(規律)



奉納歌舞伎のフィナーレを地区の人と一緒に祝う子供たち (2月12日)



## 6. 実践事例についての評価

“子縁社会”という地域コミュニティの姿を表す言葉があるが、子供と学校を大切にする田峯地区の姿そのものであるといえる。本校では、そうした地域の思いに応え、子供同士、家族・地域の人との交流体験を深めていくことが、自分を大切にし、人を思いやる心を育むという人権感覚育成の足場になることを実感しながら2年間の実践に努めてきた。

### 成果と課題

- 複式少人数学級でも、互いの思いを語り合うことで課題解決の大きな力が引出せること。
- 自己対話やコミュニケーションの方法を学ぶことが、互いを大切にする心の育ちにつながる。
- 学校外での交流の輪を広げることは、自分らしさを生かす新たな活力となること。
- 子供相互の力で追求できる課題の設定と教師支援の在り方を工夫改善していくこと。
- 人権問題への気づきを深める教材開発や年間指導計画づくりを進めること。

## 【人権教育の指導方法等に関する調査研究会議によるコメント】

### 設楽町立田峯小学校

全校児童 11 人の複式学級の小学校における組織的な人権教育推進の事例である。地域の「人・もの・こと」を活用した人権教育の推進によって人権感覚を醸成することを目指している。校長・教頭の監督のもと「人権教育推進会議」で学校外の各種団体や人権擁護委員と連携を図っている点に特徴がある。「青い目の人形使節団」としてアメリカ訪問をする「遠足・集団宿泊的行事」、地域ぐるみの子育て環境である「子縁社会」の活用、歌舞伎や田楽などの地域の伝統文化の継承をはかる「文化的行事」の活用、などの国際交流型、地域連携型の取組を有効に進めている点が示唆に富む。